

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立与野高等学校)

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校
--------	---

重点目標	1 幅広い教養と確かな学力の向上を図るとともに、新学習指導要領への対応やICT活用に取り組み、進路実現を支援する。 2 自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3 保護者・地域との連携をとおして、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 1 月 2 5 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>&lt;現状&gt;本校生は学習意欲が高く、基本的な生活習慣も身に付いている。ICTの活用は一定程度進んだ。今後は、すべての学年で一層進めていく必要がある。</p> <p>&lt;課題&gt;生徒のICTの活用による協働的及び個別最適化した学習や探究活動の機会を充実させる必要がある。</p>	<p>○授業充実と生徒の学力向上</p> <p>○生徒が希望する進路実現</p>	<p>①職員研修会の実施</p> <p>②ICT機器(特にタブレット端末)を活用した授業の充実</p>	<p>①職員研修会の実施回数(年2回以上)</p> <p>②生徒・保護者アンケートの「授業満足度」で肯定的回答が80%以上</p>	<p>①教育相談・ハラスメント・人権・ICT研修会を実施した。</p> <p>②タブレット端末については1学年を中心に日常的に活用。授業満足度 生徒83.1%(81%)保護者72.6%</p> <p>①②生徒の意欲的参加73.2%(81%) 保護者の47.2%が進路指導のより充実を求め、学習活動と進路指導に力を入れてほしいと61.5%が望んでいる。</p> <p>③イングリッシュチャレンジを含めてほぼ目標を達成した。</p>	A	<p>・職員研修は回数も増え、内容も充実していた。</p> <p>・ICT教育推進については、小委員会を中心にさらなる利便性の向上を図っていきたい。</p> <p>・進路指導への要望があり、その対応を求められる。</p> <p>・コロナ以前同様、授業アンケートを個別におこなうなどの改善が見られた。</p>
2	<p>&lt;現状&gt;落ち着いた校風の下で、多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。一方、与えられたことには取り組むが、自ら課題を発見し行動することは不得意な傾向がある。</p> <p>&lt;課題&gt;学校行事の企画立案等の探究活動等を通じて、自分の意見を発表する機会の充実を図っていく必要がある。また、計画的な行動などによる規範意識を持つことにより、自己育成を行う。</p>	<p>○学校行事・部活動等とおとしたコミュニケーション力・協働力、チャレンジ力の育成</p> <p>○与野高生としてのプライドの育成</p>	<p>①生徒主体の学校行事の充実</p> <p>②部活動の積極的な取組</p>	<p>①生徒・保護者アンケートの「行事の満足度」で肯定的な回答が80%以上</p> <p>②生徒・保護者アンケートの「部活動の満足度」で肯定的な回答が80%以上</p> <p>②部活動加入率90%以上</p>	<p>①満足度は生徒89.0%、保護者89.5%となっている。昨年度の92%からは微減となっている。</p> <p>②満足度は生徒75.3%、保護者75.8%となっている。昨年度の77%からは微減となっている。</p> <p>③加入率90.7%(昨年度91%)</p> <p>①②生徒82.4%、保護者92.3%となっている。両者の差が気になる。昨年度は89%</p> <p>②生徒97.9%。保護者94.5%となっている。生徒の規範意識は極めて高い。</p>	B	<p>・体育祭、文化祭、マラソン大会などの学校行事、卒業式など、人数制限を解除し、徐々に以前の賑わいが戻ってきた。</p> <p>・部活動の満足度が若干ではあるが下がっている。</p> <p>・外部からの生徒への苦情はほとんどがなく、また、校外での交流活動が盛んに行われている。</p> <p>・これからは100周年に向けて、より行事の質的な向上が求められる。</p>
3	<p>&lt;現状&gt;地域に根ざした学校として本校の教育活動が地域に理解されており、HPや保護者宛てメールも数多く更新・配信している。</p> <p>&lt;課題&gt;地域との連携・協働的な取り組みに積極的に関わっていく。</p>	○保護者・地域等の連携	<p>①ホームページの更なる充実</p> <p>②メール配信システムを使用したきめ細かな連絡</p> <p>③PTAと連携した講演会や大学見学会等の実施</p> <p>④生徒募集を重点化させ中学生および保護者へ情報を適切に提供</p> <p>⑤地域連携事業等への参加者の増加</p> <p>⑥地域の学校説明会等への参加</p>	<p>①ホームページの更新回数が年120回以上</p> <p>②メール配信回数が年120回以上</p> <p>③PTA主催事業等の参加者数が年250人以上</p> <p>④学校見学会への参加者数が年2000人以上</p> <p>⑤地域連携事業等の参加生徒数が年100人以上</p> <p>⑥学校案内等配布1000部以上</p>	<p>①HPの更新回数は150回、校内360度パノラマの内容を追加した。</p> <p>②メールの配信回数は197件と増加した。</p> <p>③PTA主催事業等の参加は、300名を超えた。</p> <p>④学校見学会への参加者数が年3000人以上と増加した。</p> <p>⑤地域連携事業等の参加生徒数が年100人以上は達成した。</p> <p>⑥進学フェアの参加もあり、学校案内等配布5000部以上となった。</p>	A	<p>・生徒募集と学校紹介については、新たな試みがあり、その成果として引き続き高倍率を維持している。</p> <p>・生徒募集小委員会を発足させたので今後はより効果的な取り組みを行っていききたい。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和6年2月1日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・社会においては、様々な面での「見える化」が進んでいる。タブレットの活用を含めたICT教育の推進は、これからも必要なスキルとして継続してほしい。しかし、併せてメモを取る習慣なども身につけることで進学後や社会に出てからの活動に役立ててほしい。</p> <p>・授業におけるディスプレイの活用やパワーポイントなどのソフトを使用することで、板書時間の短縮と学習時間が確保されることはよいことである。</p> <p>・コロナ後の対応として、各行事の制限が緩和され、多くの保護者や来校者に、行事を見ていただいたことはよいことである。</p> <p>・入学してよかったという回答について、「どちらかというと」という条件付きが半数あるので、その理由などを精査していく必要がある。</p> <p>・このアンケートにはない項目であるが、校内の冷房の性能不足(低下)などについて、今後の対策が必要である。</p> <p>・小学校において生徒を教えるという交流活動が復活し、担当した生徒が教職への意欲をもっていることは、喜ばしく、今後も地域の連携事業として継続してほしい。</p> <p>・多くの生徒が地域連携などの関わり、部活動や生徒会活動を行っている。今後も継続して行ってほしい。</p> <p>・生徒会の呼びかけで能登半島地震への募金を行った結果、多くの額が集まり寄付をすることができた。今後もこのような活動を続けていきたい。</p>	